



校訓『誠健勤和』

富良野西中学校

《学校だより》

令和8年2月20日

2月号



樹人

まずは自分の命を守る

校長 千葉 良彦

地震を想定した避難訓練で、次のような話をしました。

記録では、十勝岳は、1857年、87年（前回から30年後）、1926年（39年後）、62年（36年後）、88年から89年（26・27年後）に、避難の必要がある噴火を記録しています。約30年の周期で大規模な噴火を起こしています。

前回の噴火からは36・7年が経過しました。“いつ噴火に伴う大きな地震が起こってもおかしくない”、そんな状況の中で私たちは生活しています。

1995年に発生した阪神淡路大震災は、都市直下型の地震で、建物が多く押しつぶされ、6千人以上が亡くなりました。冬の明け方で暗かったこともあり、電気をつけようとしたことで断線した電気系統から発火し、火災につながりました。“再通電火災”と言うそうです。以後、地震が起きて停電になったら、電力会社は安全に電気が供給できることを確認できるまで通電しなくなりました。“地震の後には停電が続く”ことを想定しておいてください。

2011年の3.11東日本大震災では、宮城県石巻市の学校体育館に800人が避難しました。トイレは、津波の影響で下水が逆流して使えない状態。そこで、体育館にあった透明な衣装ケースをトイレ代わりに使ったそうです。避難している人みんなが使っていたので、ケースの中には他の人の便や尿があり、においもすごく、たまった便や尿は避難所の担当者が毎日外に捨てに行ったとのこと。この状態は3日続いたそうです。“トイレはいつも当たり前にあるものじゃない”んですね。

2016年の熊本地震では、マンションの排水管などが地震で損傷しているにもかかわらず、上の階の人がトイレを使用したため、マンションの1階のトイレが汚物であふれてしまう……ということがありました。地震のあと“停電や断水しているときは、トイレの水を流さない”が鉄則だそうです。

災害は突然やってきます。部活動中かもしれないし、登校中、昼休みかもしれません。

一番大切なのは、どこにしようと、自分の命は自分で守ることで。まず自分の命を守る行動をしっかりとってください。命より大切なものはありません。

自分の命が確保できたら、初めて周囲の人を助けてください。それが避難の鉄則です。

2月の西中

ZERO 運動月別目標

「計画を立てたことに責任をもって行動しよう！」

月別 保健目標

「心の健康を考えよう！」

入学説明会

2月3日（火）、令和8年度入学児童・保護者を対象に入学説明会を実施しました。4月からお子さんをお迎えできることを、教職員一同心より楽しみにしております。6年生は5つのグループに分かれて授業参観し、中学校での学習や生活について話を聞きました。

小学校生活も残りわずかとなり、新しい生活への期待で胸をふくらませている頃かと思います。中学校は学習内容が広がり、自ら考え行動する力がより求められる場所です。不安を感じることもあるかもしれませんが、保護者の皆様には、これまでと変わらぬ温かいまなざしでお子さんを励まし、支えていただければ幸いです。

今回の説明が、新しい生活のスタートに向けて不安を和らげる時間となればと願っています。4月、笑顔で皆さんに再会できるのを楽しみにしています。



スキー授業

1月23日（金）から、1・2年生を対象に富良野スキー場で各学年2回のスキー授業を行いました。小グループに分かれ、インストラクターの話をよく聞き、仲間と声をかけ合いながら楽しみつつ個々の技量を高めました。

富良野西中生には、地域の誇りである富良野市の素晴らしいスキー場のシーズン券が配付されています。冬期間の体力増進や技術向上のためにも、積極的に活用し、自然を感じながら心身を鍛えてほしいと思います。



除雪ボランティア

2月13日（金）、本校の生徒会本部役員および生活向上委員が、地域にお住まいの高齢者宅周辺にて除雪ボランティアを実施いたしました。厳しい寒さの中ではありますが、生徒たちは地域の方々の安全な生活を願い、額こ汗を浮かべながら熱心に作業に取り組んでいました。今回の活動を通じ、生徒たちは「支えられる側」から「支える側」へと成長し、これからも地域の一員としての自覚を持ち、他者を思いやり、互いに支え合える精神を育てていくことを切に願っております。



富良野看護専門学校との交流学習

2月6日(金)、1年生を対象に富良野看護専門学校との交流学習を行いました。看護学生の真剣な発表や対話を通じ、生徒は医療への関心のみならず、数年後の自分を具体的にイメージする貴重な機会を得ました。

本校ではこうした活動を、単なる進路指導を超えた「キャリア教育」の実践と位置づけています。変化の激しい現代社会において、キャリア教育は自立して生き抜く力を育むために不可欠です。

学習の意義を社会とのつながりの中に見出すことは、日々の勉強を「やらされるもの」から「自らの未来に必要なもの」へと変え、学ぶ意欲を大きく向上させます。

「未来の先輩」である学生の姿に触れたことで、生徒は将来を自分事として捉え、現在の課題に向き合う姿勢を養うことができました。今後も地域と連携し、生徒の主体的なキャリア形成を支援してまいります。



1・2年生参観日

2月12日(木)、1・2年生を対象に今年度最後の参観日を実施しました。多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの成長した姿をご覧いただけたかと思います。1年生は理科、英語、2年生は音楽、美術の授業を参観いただきました。

授業後、1年生は学年レクリエーション、2年生は修学旅行説明会を行い、有意義な時間となりました。お忙しい中ありがとうございました。



1年生 性に関する指導

「いろいろな性 いろいろな生き方」に学ぶ

2月18日(水)に一般社団法人にじいろほっかいどう 真田 陽 様を講師にお招きしました。1年生を対象に本校では、性の多様性への理解を深め、誰もが互いの個性を認め合える学校づくりを目指しています。その一環として、性のあり方は一人ひとり異なるという「多様性」をテーマにした学習を行いました。

学習では、性別は「自認する性(心の性)」や「すきになる性(好きになる相手)」など、様々な要素で構成されていることを学びました。また、グループワークを通して、日常生活の中にある「男らしさ・女らしさ」といった固定的な思い込みや偏見が、誰かを傷つけてしまう可能性があることについても話し合いました。

誰もが「幸せになる権利」を持っています。今回の学習を通して、自分らしさを大切にすると同時に、他者のちがいを尊重し、みんなが安心して過ごせる環境を作ることの重要性を再確認しました。



大会結果

- 第46回富士スポーツ杯中学校親睦バレーボール大会 第1位
富良野西・上富良野・樹海・南富良野中学校女子排球部
- 第51回富良野沿線中学校バスケットボール新人大会 女子の部 第3位
- 令和7年度上川南部地区1年生インドア研修大会兼第8回北海道中学生1年生団体王座ソフトテニス大会予選会 第1位 高橋・荒川 女子個人2位リーグ第1位 石川・早坂組
- 第30回三野スポーツ杯中学校新人バレーボール大会 優勝 富良野合同チーム



親卒業



第75回卒業証書授与式 3月12日(木)開催
卒業生保護者の皆様、ご来賓の皆様、在校生、および職員一同が一堂に会し、卒業生の前途を祝福いたします。
駐車スペースには限りがございますので、近隣の方は徒歩でのご来校にご協力をお願いいたします。
卒業生の門出を祝うにふさわしい、厳かで温かな式となるよう準備を進めております。

3/4	水	公立高校学力検査	3/17	火	前期生徒会役員選挙
3/5	木	公立高校面接			公立高校合格発表
3/10	火	卒業生を送る会	3/23	月	全校集会(認証式)
3/11	水	同窓会入会式	3/25	水	修了式 離任式 職員会議
3/12	木	卒業証書授与式	4/7	火	着任式 始業式 入学式